

改正

平成27年4月1日

平成27年12月15日 議決

平成29年3月17日 議決

平成29年12月20日 議決

平成30年3月15日 議決

地方独立行政法人芦屋中央病院定款

目次

第1章 総則（第1条—第6条）

第2章 役員及び職員（第7条—第12条）

第3章 理事会（第13条—第16条）

第4章 業務の範囲及びその執行（第17条—第19条）

第5章 資本金、出資及び資産（第20条・第21条）

第6章 雑則（第22条）

附則

第1章 総則

（目的）

第1条 この地方独立行政法人は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号。以下「法」という。）に基づき、地域住民に安全安心で質の高い医療を提供し、地域の医療機関及び芦屋町と連携して在宅医療等の充実を図るとともに、住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

（名称）

第2条 この地方独立行政法人は、地方独立行政法人芦屋中央病院（以下「法人」という。）と称する。

（設立団体）

第3条 法人の設立団体は、芦屋町とする。

（事務所の所在地）

第4条 法人は、事務所を遠賀郡芦屋町大字山鹿283番地7に置く。

（法人の種別）

第5条 法人は、特定地方独立行政法人以外の地方独立行政法人とする。

（公告の方法）

第6条 法人の公告は、法人の事務所の掲示場に掲示して行う。

第2章 役員及び職員

（役員）

第7条 法人に、役員として、理事長1人、副理事長1人、理事4人以内及び監事2人以内を置く。

（役員の職務及び権限）

第8条 理事長は、法人を代表し、その業務を総理する。

2 副理事長は、法人を代表し、理事長の定めるところにより、理事長を補佐して法人の業務を掌理し、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行う。

3 理事は、理事長の定めるところにより、理事長及び副理事長を補佐して法人の業務を掌理する。

4 理事は、理事長があらかじめ指定した順位により、理事長及び副理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長及び副理事長が欠員のときはその職務を行う。

5 監事は、法人の監査その他の法に規定する職務を行う。

(役員任命)

第9条 理事長及び監事は、芦屋町長（以下「町長」という。）が任命する。

2 副理事長及び理事は、理事長が任命する。

(役員任期)

第10条 理事長及び副理事長の任期は4年とし、理事の任期は2年とする。ただし、補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 監事の任期は、法第15条第2項本文の規定による期間とする。

3 役員は、再任されることができる。

(役員解任)

第11条 町長又は理事長は、それぞれの任命に係る役員が法第16条の規定により役員となることができないものに該当するに至ったときは、その役員を解任しなければならない。

2 町長又は理事長は、それぞれの任命に係る役員が次の各号のいずれかに該当するとき、又はその他役員たるに適しないと認めるときは、その役員を解任することができる。

(1) 心身の故障のため職務の遂行に堪えないと認められるとき。

(2) 職務上の義務違反があるとき。

3 前項に規定するもののほか、町長又は理事長は、それぞれの任命に係る役員（監事を除く。）の職務の執行が適当でないため法人の業務の実績が悪化した場合であって、その役員に引き続き当該職務を行わせることが適切でないとき、その役員を解任することができる。

4 理事長は、前2項の規定により、副理事長及び理事を解任したときは、遅滞なく、その旨を町長に届け出るとともに、これを公表しなければならない。

(職員に関する事項)

第12条 法人の職員は、理事長が任命する。

2 法人の職員の職の種類、職務及び任命その他職員に関する事項については、法人の規程で定める。

第3章 理事会

(設置及び構成)

第13条 法人に理事会を置き、理事長、副理事長及び理事をもって構成する。

(招集)

第14条 理事会は、理事長が必要と認める場合にこれを招集する。

2 理事長は、理事長を除く理事会の構成員の3分の1以上の者又は監事から会議の目的たる事項を記載した書面を付して理事会の招集要求があったときは、理事会を招集しなければならない。

(議決事項)

第15条 次に掲げる事項は、理事会の議決を経なければならない。

(1) 法により町長の認可又は承認を受けなければならない事項

(2) 年度計画に関する事項

(3) 予算の作成及び決算に関する事項

(4) 理事会が定める重要な予算の執行に関する事項

(5) 診療科その他の重要な組織の設置又は廃止に関する事項

(6) 規程の制定又は改正若しくは廃止に関する事項。ただし、理事会が定める軽易な改正又は廃止を除く。

(7) 前各号に掲げるもののほか、理事会が定める重要事項

(議事)

第16条 理事会に議長を置き、理事長をもって充てる。

2 議長は、理事会を主宰する。

3 理事会は、構成員の過半数が出席しなければ開くことができない。

4 理事会の議事は、出席した副理事長及び理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 監事は、理事会に出席して意見を述べることができる。

第4章 業務の範囲及びその執行

(病院の名称及び所在地)

第17条 法人が第1条の目的を達成するために設置及び管理を行う病院の名称及び所在地は、次のとおりとする。

名称 芦屋中央病院

所在地 遠賀郡芦屋町大字山鹿283番地7

(業務の範囲)

第18条 法人は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

(1) 医療を提供すること。

(2) 医療に関する調査及び研究を行うこと。

(3) 医療に関する研修を行うこと。

(4) 医療に関する地域への支援を行うこと。

(5) 健康診断等の予防医療を提供すること。

(6) 介護サービス等に関する業務を行うこと。

(7) 在宅医療業務を行うこと。

(8) 前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

(業務方法書)

第19条 法人の業務の執行に関する事項は、この定款に定めるもののほか、業務方法書に定めるところによる。

第5章 資本金、出資及び資産

(資本金等)

第20条 法人の資本金は、法第66条の2第1項の規定により芦屋町から法人に対し出資されたものとされる金額とする。ただし、芦屋町が法人の設立の日以後に法人に対して出資をした場合は、法人は当該出資に係る財産の出資の日現在における時価を基準として芦屋町が評価した価額により資本金を増加するものとし、法人が法第42条の2第1項又は第2項の規定により芦屋町からの出資に係る不要財産を芦屋町に納付した場合は、法人は同条第4項の規定により資本金を減少するものとする。

2 芦屋町からの出資に係る財産のうち土地及び建物については、別表に掲げるものとする。

(残余財産の帰属)

第21条 法人が解散した場合において、その債務を弁済してなお残余財産があるときは、当該残余財産は、芦屋町に帰属する。

第6章 雑則

(規程への委任)

第22条 法人の運営に関し必要な事項は、この定款及び業務方法書に定めるもののほか、法人の規程に定めるところによる。

附 則

この定款は、法人の成立の日から施行する。

附 則 (平成27年4月1日)

この定款は、地方独立行政法人芦屋中央病院の成立の日から施行する。

附 則 (平成27年12月15日)

この定款は、法第8条第2項の規定による福岡県知事の認可のあった日から施行する。

附 則 (平成29年3月17日)

この定款は、法第8条第2項の規定による福岡県知事の認可のあった日から施行する。

附 則 (平成29年12月20日)

この定款は、平成30年3月1日から施行する。

附 則 (平成30年3月15日)

この定款は、平成30年4月1日から施行する。ただし、別表の改正規定は、法第8条第2項の規定による福岡県知事の認可のあった日から施行する。

別表 (第20条関係)

1 土地

所在地	地積 (㎡)
遠賀郡芦屋町白浜町1455番146	317
遠賀郡芦屋町白浜町1455番153	1,032.80
遠賀郡芦屋町白浜町1455番154	1,090.80
遠賀郡芦屋町白浜町1455番155	8.91
遠賀郡芦屋町白浜町1455番156	7.13
遠賀郡芦屋町大字山鹿字道明ヶ浦228番7	9,850.83
遠賀郡芦屋町大字山鹿字惣ヶ瀬283番7	12,770.91
遠賀郡芦屋町大字山鹿字惣ヶ瀬283番8	1,567.20
遠賀郡芦屋町大字山鹿字惣ヶ瀬283番9	1,546
遠賀郡芦屋町大字山鹿字惣ヶ瀬283番12	1,082

2 建物

施設名	所在地	延床面積 (㎡)
医師住宅2号	遠賀郡芦屋町白浜町1455番地153	99.11
医師住宅3号	遠賀郡芦屋町白浜町1455番地153	99.11
医師住宅4号	遠賀郡芦屋町白浜町1455番地153	99.11
医師住宅5号	遠賀郡芦屋町白浜町1455番地154	97.46
医師住宅6号	遠賀郡芦屋町白浜町1455番地154	97.46
医師住宅7号	遠賀郡芦屋町白浜町1455番地154	97.46
医師住宅8号	遠賀郡芦屋町白浜町1455番地154	97.46